

【調剤報酬点数表一覧】

【調剤技術料】

調剤基本料

処方箋受付1回につき

項目	主な要件、算定上限	点数
①調剤基本料 1	②～⑤以外、または 医療資源の少ない地域に所在する保険薬局	45点
②調剤基本料 2	処方箋受付回数および集中度が、次のいずれかに該当する保険薬局 イ) 月4,000回超&上位3医療機関に係る合計受付回数の集中度70%超 ロ) 月2,000回超&集中度85%超 ハ) 月1,800回超&集中度95%超 ニ) 特定の保険医療機関に係る処方箋が月4,000回超 ※1. 保険薬局と同一建物内の複数保険医療機関の受付回数は合算 ※2. 同一グループの他の保険薬局で集中度が最も高い保険医療機関が同一の場合は、当該処方箋受付回数を含む	29点
③調剤基本料 3	同一グループの保険薬局の処方箋受付回数（または店舗数）の合計 および当該薬局の集中度が、次のいずれかに該当する保険薬局 イ) ・ 月3.5万回超～4万回以下&集中度95%超 ・ 月4万回超～40万回以下&集中度85%超 ・ 月3.5万回超&特定の保険医療機関と不動産の賃貸借取引 ロ) ・ 月40万回超（または 300店舗以上）&集中度85%超 ・ 月40万回超（または 300店舗以上）&特定の保険医療機関と不動産の賃貸借取引 ハ) ・ 月40万回超（または 300店舗以上）&集中度85%以下	イ) 24点 ロ) 19点 ハ) 35点
④特別調剤基本料	保険医療機関と特別な関係（同一敷地内）&集中度50%超の保険薬局 ※1. 地域支援体制加算・後発医薬品調剤体制加算等は▲90%で算定 ※2. 薬学管理料に属する項目（一部を除く）は算定不可 ※3. 1処方につき7種類以上の内服薬の薬剤料は▲10%で算定	5点
⑤特別調剤基本料 B	調剤基本料に係る届出を行っていない保険薬局 ※1. 調剤基本料の各種加算および薬学管理料に属する項目は算定不可 ※2. 1処方につき7種類以上の内服薬の薬剤料は▲10%で算定	3点
注1) 受結率50%以下などは▲50%で算定	注2) 異なる保険医療機関の複数処方箋の 同時受付、1枚目以外は▲20%で算定	
分割調剤（長期保存の困難性等）	1分割調剤につき（1処方箋の2回目以降）	5点
分割調剤（後発医薬品の試用）	1分割調剤につき（1処方箋の2回目のみ）	5点

加算（調剤基本料）

項目	主な要件、算定上限	点数
地域支援体制加算 1	調剤基本料 1 の保険薬局、基本体制＋必須1＋選択2以上	32点
地域支援体制加算 2	調剤基本料 1 の保険薬局、基本体制＋選択8以上	40点
地域支援体制加算 3	調剤基本料 1 以外の保険薬局、基本体制＋必須2＋選択1以上	10点
地域支援体制加算 4	調剤基本料 1 以外の保険薬局、基本体制＋選択8以上	32点
連携強化加算	○災害・新興感染症発生時等の対応体制	5点
後発医薬品調剤体制加算 1 後発医薬品調剤体制加算 2 後発医薬品調剤体制加算 3	後発医薬品の調剤数量が1:80%以上、2:85%以上、3:90%以上加算	1：21点、2：28点、3：30点
後発医薬品減算	一後発医薬品の調剤数量が50%以下、月600回以下の保険薬局を除く	▲5点
在宅薬学総合体制加算 1	在宅患者訪問薬剤管理指導料等24回以上、緊急時等対応、医療・衛生材料等	15点
在宅薬学総合体制加算 2	同加算 1 の算定要件、①医療用麻薬（注射薬合）の備蓄&無菌製剤処理体制 または ②乳幼児・小児特定加算6回、かかりつけ薬剤師24回、高度管理医療機器ほか	50点
医療DX推進体制整備加算 1 医療DX推進体制整備加算 2 医療DX推進体制整備加算 3	オンライン資格確認や電子処方箋など医療DXを推進する体制の評価 マイナ保険証利用率に応じて マイナ保険利用率 45%以上 月1回まで マイナ保険利用率 30%以上 月1回まで マイナ保険利用率 15%以上 月1回まで	10点 8点 6点

薬剤調整料

項目	主な要件、算定上限	点数
内服薬	1剤につき、3剤分まで	24点
屯服薬		21点
浸煎薬	1調剤につき、3調剤分まで	190点
湯薬	1調剤につき、3調剤分まで	7日分以下190点、 8～27日分190点+10点/1日分(8日目以上の部分)、 28日分以上 400点
注射薬		26点
外用薬	1調剤につき、3調剤分まで	10点
内服用滴剤	1調剤につき	10点

加算（薬剤調整料）

項目	主な要件、算定上限	点数
無菌製剤処理加算 中心静脈栄養法用輸液 抗悪性腫瘍剤 麻薬	1日につき ※注射薬のみ 2以上の注射薬を混合69点(6歳未満 137点) 2以上の注射薬を混合(生理食塩水等で希釈する場合を含む) 麻薬を含む2以上の注射薬を混合(〃)または 原液を無菌的に充填	69点(6歳未満 137点) 79点(6歳未満 147点) 69点(6歳未満 137点)
麻薬等加算 (麻薬、向精神薬、覚醒剤原料、毒薬)	1調剤につき	麻薬 70点 麻薬以外 8点
自家製剤加算(内服薬) 錠剤、丸剤、カプセル剤、散剤、顆粒剤、注射剤 液剤	1調剤につき 錠剤を分割した場合は20/100に相当する点数を算定	7日分につき 20点 45点
自家製剤加算(屯服薬) 錠剤、丸剤、カプセル剤、散剤、顆粒剤、注射剤 液剤	1調剤につき	90点 45点
自家製剤加算(外用薬) 錠剤、トローチ剤、軟膏剤、パップ剤、リメント剤、坐剤 点眼剤、点鼻・点耳剤、浣腸剤 液剤	1調剤につき	90点 75点 45点
計量混合調剤加算 ※内服薬・屯服薬・外用薬 液剤 散剤、 顆粒剤軟膏剤	1調剤につき	35点 45点 80点
時間外等加算(時間外、休日、深夜)	基礎額 ＝調剤基本料(加算含)＋薬剤調整料＋無菌製剤処理加算＋調剤管理料	基礎額の100%(時間外) 140%(休日) 200%(深夜)
夜間・休日等加算	処方箋受付1回につき	40点

【薬学管理料】

薬剤調整料

処方箋受付1回につき、薬剤服用歴の記録・管理

項目	主な要件、算定上限	点数
①内服薬あり	内服薬 1剤につき、3剤分まで	7日分以下 4点、 8～14日分 28点 15～28日分 50点、 29日分以上 60点
② ①以外		4点

加算（調剤管理料）

項目	主な要件、算定上限	点数
重複投薬・相互作用等防止加算	処方変更あり	残薬調整以外 40点、残薬調整 20点
調剤管理加算	複数医療機関から合計6種類以上の内服薬が処方されている患者	初来局時 3点 2回目以降（処方変更・追加）3点
医療情報取得加算	オンライン資格確認体制、1年に1回まで	1点

服薬管理指導料

処方箋受付1回につき、薬剤情報提供・服薬指導

項目	主な要件、算定上限	点数
① 通常（②・③以外）、	3カ月以内の再調剤（手帳による情報提供あり）または それ以外	再調剤45点、それ以外 59点
② 介護老人福祉施設等入所者	ショートステイ等の利用者も対象、オンラインによる場合含む月4回まで	45点
③ 情報通信機器を使用（オンライン）	3カ月以内の再調剤（手帳による情報提供あり）または それ以外	再調剤 45点、それ以外 59点

加算（服薬管理指導料）

項目	主な要件、算定上限	点数
麻薬管理指導加算		22点
特定薬剤管理指導加算 1	厚生労働大臣が定める特に安全管理が必要な医薬品	新たに処方10点 指導の必要 5点
特定薬剤管理指導加算 2	抗悪性腫瘍剤の注射 & 悪性腫瘍の治療に係る調剤、月1回まで	100点
特定薬剤管理指導加算 3	イ) 医薬品リスク管理計画に基づく指導、対象医薬品の最初の処方時1回まで ロ) 選定療養（長期収載品の選択）等の説明、対象薬の最初の処方時1回	イ) 5点、ロ) 10点
乳幼児服薬指導加算	6歳未満の乳幼児	12点
小児特定加算	医療的ケア児（18歳未満）	350点
吸入薬指導加算	喘息または慢性閉塞性肺疾患の患者、3月に1回まで	30点
服薬管理指導料（特例）	3カ月以内の再調剤のうち手帳の活用実績が50%以下、加算は算定不可	13点
	処方箋受付1回につき、 かかりつけ薬剤師との連携対応、かかりつけ薬剤師指導料等の算定患者	59点

かかりつけ薬剤師指導料 処方箋受付1回につき

項目	主な要件、算定上限	点数
かかりつけ薬剤師指導料	服薬情報等提供料の併算定不可	76点
加算	服薬管理指導料と同じ 麻薬管理指導加算、特定薬剤管理指導加算 1、特定薬剤管理指導加算 2、特定薬剤管理指導加算 3、乳幼児服薬指導加算、小児特定加算、 吸入薬指導加算	
かかりつけ薬剤師包括管理料		処方箋受付1回につき 291点

その他の指導料

項目	主な要件、算定上限	点数
外来服薬支援料 1	月1回まで	185点
外来服薬支援料 2	包化支援、内服薬のみ	34点／7日分、 43日分以上 240点
施設連携加算	入所中の患者を訪問、施設職員と協働した服薬管理・支援、月1回まで	50点
服用薬剤調整支援料 1	内服薬6種類以上→2種類以上減少、月1回まで	125点
服用薬剤調整支援料 2	内服薬6種類以上→処方医への重複投薬等の解消提案、3月に1回 まで 重複投薬等の解消の実績あり または それ以外	実績あり 110点、 それ以外 90点
調剤後薬剤管理指導料	地域支援体制加算の届出を行っている保険薬局、月1回まで 1) 糖尿病患者、糖尿病用剤の新たな処方または投薬内容の変更 2) 慢性心不全患者、心疾患による入院経験あり	60点 60点
服薬情報等提供料 1	保険医療機関からの求め、文書による情報提供、月1回まで	30点
服薬情報等提供料 2	薬剤師が必要ありと判断、文書による情報提供、月1回まで イ) 保険医療機関、ロ) リフィル処方箋の調剤後、ハ) 介護支援専門員	20点
服薬情報等提供料 3	保険医療機関からの求め、入院予定患者、3月に1回まで	50点

在宅訪問指導に関する指導料

項目	主な要件、算定上限	点数
在宅患者訪問薬剤管理指導料	在宅療養患者、医師の指示、薬学的管理指導計画 月4回まで（末期の悪性腫瘍の患者、注射による麻薬投与が必要な患者、 中心静脈栄養法の患者は週2回 & 月8回まで） 保険薬剤師1人につき週40回まで（①～④合わせて） ① 単一建物患者 1人650点 ② 単一建物患者 2～9人320点 ③ 単一建物患者 10人以上 ④ 在宅患者オンライン薬剤管理指導料	① 650点 ② 単一建物患者 2～9人320点 ③ 単一建物患者 10人以上290点 ④ オンライン 59点
加算	麻薬管理指導加算	オンラインの場合は処方箋受付1回につき 100点（オンライン 22点）
	在宅患者医療用麻薬持続注射療法 加算	医療用麻薬持続注射療法を行っている在宅患者、オンライン不可 250点
	乳幼児加算	医療的ケア児（18歳未満）、オンラインの場合は処方箋受付1回につき 450点（オンライン 350点）
	在宅中心静脈栄養法加算	在宅中心静脈栄養法を行っている患者、オンライン不可 150点

項目		主な要件、算定上限	点数
在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料		在宅療養患者、医師の指示、状態の急変等に伴う対応 ※新興感染症対応合わせて月4回まで (末期の悪性腫瘍の患者・注射による麻薬投与が必要な患者は、①②を合わせ原則として月8回まで) 主治医と連携する他の保険医の指示でも可 ① 計画的な訪問薬剤指導に係る疾患の急変500点 ② ①・③以外 ③在宅患者緊急オンライン薬剤管理指導料	500点 200点 59点
加算	在宅患者訪問薬剤管理指導料と同じ		
	夜間・休日・深夜訪問加算	末期の悪性腫瘍の患者、注射による麻薬投与が必要な患者	夜間400点、休日600点、深夜1,000点
在宅患者緊急時等共同指導料		在宅療養患者、主治医と連携する他の保険医の指示でも可、月2回まで	700点
加算	在宅患者訪問薬剤管理指導料と同じ		
	在宅患者重複投薬・相互作用等防止管理料	在宅患者訪問薬剤管理指導料または居宅療養管理指導費の算定患者 1) 疑義照会に伴う処方変更、 2) 処方箋交付前の処方提案に伴う処方箋	残薬調整以外 40点、 残薬調整 20点
経管投薬支援料		初回のみ	100点
在宅移行初期管理料		在宅療養開始前の管理・指導、在宅患者訪問薬剤管理指導料等の初回に算定	230点
退院時共同指導料		入院中1回(末期の悪性腫瘍の患者等は入院中2回)まで、ビデオ通話可	600点

【薬剤料】

項目		主な要件、算定上限	点数
使用薬剤料		薬剤調製料の所定単位につき (所定単位につき15円以下の場合) 〃 (所定単位につき15円を超える場合)	1点 10円又はその端数を増すごとに1点
	多剤投与時の通減措置	1処方につき7種類以上の内服薬、特別調剤基本料A・Bの保険薬局の場合	所定点数の90/100に相当する点数

【特定保険医療材料】

項目	主な要件、算定上限	点数
特定保険医療材料	厚生労働大臣が定めるものを除く	材料価格を10円で除して得た点数

【介護保険関連】

項目		主な要件、算定上限	点数
居宅療養管理指導費 介護予防居宅療養管理指導費		《薬局の薬剤師の場合》 合わせて月4回まで(末期の悪性腫瘍の患者、注射による麻薬投与が必要な患者、中心静脈栄養法の患者は週2回&月8回まで) ① 単一建物居住者 1人 ② 単一建物居住者 2～9人 ③ 単一建物居住者 10人以上 ④ 情報通信機器を用いた服薬指導	① 518単位 ② 379単位 ③ 342単位 ④ 46単位
加算	麻薬管理指導加算	オンラインの場合は処方箋受付1回につき	100単位
	医療用麻薬持続注射療法加算	医療用麻薬持続注射療法を行っている在宅患者、オンライン不可	250単位
	在宅中心静脈栄養法加算	在宅中心静脈栄養法を行っている患者、オンライン不可	150単位
	特別地域加算		所定単位数の15%
	中山間地域等小規模事業所加算		所定単位数の10%
	中山間地域等居住者サービス提供加算		所定単位数の5%